

平成30年度横浜市史資料室 展示会

横浜の昭和を生きた人びと

— 家族と歩んだ戦前～戦後 —

横浜市史資料室は、開室以来10年目を迎えました。横浜市史Ⅱ編集時に収集した資料に加えて、この10年の間に多くの新たな資料が市民の皆様から寄せられています。

それらの資料に含まれる家族のアルバムと写真に注目し、震災復興から戦争をはさんだ戦後復興までの、横浜の市民・家族の歩みを紹介します。様々な個人や家族のなかから今回は、外国の系譜につながる人びとと帰国した移民、モダン横浜で華やかな青春時代を過ごした女性たち、出征した兵士と家族、戦後にアメリカ文化を享受した若者たち、こうした人びとを取り上げます。



女学校時代 1943(昭和18)年



河口湖にて 1946(昭和21)年



家族と 1951(昭和26)年

上記3点 川端ふみ家資料

1. 会期等

会期：平成30年7月14日(土)～9月17日(月・祝)

休館日：7月17日(火)、8月20日(月)

時間：午前9時30分～午後5時

入場料：無料

会場：横浜市中央図書館地下1階ホール前ホワイエ、横浜市史資料室展示コーナー

所在地：横浜市西区老松町1番地

京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩5分、JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分
市営バス停「野毛坂」下車1分(103系統)、「中央図書館」下車1分(89系統)

2. 主催／協力／企画運営

主 催：横浜市史資料室

協 力：横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜市中心図書館

企画運営：(公財)横浜市ふるさと歴史財団 近現代歴史資料課 市史資料室担当

3. 内容／構成

プロローグー横浜の昭和

震災復興から戦後の街並みの変化

I 海外とのつながり

ハワイ移民と横浜／牧野譲と勲

II モダン横浜から戦争の時代

モダンガール誕生／銃後の女性

III 出征兵士と家族

兵士と銃後の家族／兵士の記録

IV 占領・復興のなかで

日米の狭間／戦後の若者

エピローグー戦後復興から高度経済成長

文化行事の復興／横浜の空襲を記録する会



令女純情連盟横浜支部 1938（昭和13）年 牧野勲関係資料

4. 見どころ

家族のアルバムから、それぞれの時代の家族の暮らしを紹介します。戦前の横浜にはモダンで思いの外華やかな暮らしがあったこと、また戦争の時代には出征した兵士と家族に強いつながりがあったこと、そして戦後若者たちが一斉に解放された息吹などを、そこから感じることができます。

5. 関連事業

◎ 講演会 ◆「家族の記録から見る横浜の近現代史」 参加無料・当日先着順

開催日時：8月25日(土)午後1時～4時40分 (開場：12時30分)

会 場：横浜市中心図書館地下1階ホール/定 員：160人

主 催：横浜市史資料室

協 力：横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜市中心図書館

<講演会概要>

第一部 スライド上映 (展示解説)：羽田博昭(横浜市史資料室調査研究員)

第二部 講演

○「昭和戦前・戦中期、横浜の都市生活誌～磯子区の時計屋さんの日記から探る世相と家族～」

講 師：吉崎雅規 (横浜開港資料館調査研究員)

○「戦地から送られた家族への便りー横浜都市発展記念館所蔵戦時関係資料よりー」

講 師：西村 健 (横浜都市発展記念館調査研究員)

講演会で手話通訳を希望される場合は8月17日までに横浜市史資料室に御連絡ください。

Tel：045-251-3260 Fax：045-251-7321 eメール：so-sisiriyou@city.yokohama.jp

◎ 展示解説 参加無料

8月1日(水)、9月9日(日) 午後2時～(各回30分程度)

* 展示室入口にお集まり下さい。

お問合せ先

総務局行政・情報マネジメント課文書管理担当課長 金川 守 Tel：045-307-0304

* 現場取材される場合は、事前に下記まで御連絡ください。
横浜市史資料室担当係長 望月 Tel：045-251-3260